

カジカ(陸封型)

(学名: *Cottus pollux*)

[カサゴ目 カジカ科]



▲町指定貴重野生動植物に指定されているカジカ

カジカは日本にだけ生息する固有種です。また、生活型の違いにより一生を川で過ごす陸封型と海に降りる回遊型に分けられます。只見町に生息しているカジカは陸封型で、全長は13cmほどに成長し、回遊型に比べて卵が大きいことから大卵型ともよばれます。

山間地域にある只見町では、川魚は貴重なタンパク源であり、様々な漁法で川魚を捕獲し食べてきました。カジカもその一つであり「カジッカ」と呼ばれ、特に子どもの夏の川遊びとしてカジカ突きが親しまれてきました。また、ドウや四つ手網を使ったカジカ漁も行われました。捕獲したカジカは、焼いて食べるほか飯鮓にも使われてきました。

一時は水質汚濁や河川改修などで数を減らした時期もありましたが、現在、個体数も回復し、町内全域の河川に生息することが確認されています。水質の良好な河川に生息するため自然度の高い河川環境が必要であり、全国的には環境省レッドリストの準絶滅危惧種、福島県レッドリストの絶滅危惧ⅠB類に指定されています。只見町でも「只見町の野生動植物を保護する条例」に基づき町指定貴重野生動植物に指定されています。人と自然とが共生するモデル地域であるユネスコエコパークの町を象徴するカジカの個体群と生息環境の保護・保全が求められます。

企画展

「只見の古民家は何の木でつくられているのか？
—その建築様式と使用木材種—」

詳しくは、
只見町プラセンター
までお問い合わせ
ください

期 間:8月11日(土)~10月31日(水)
場 所:ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー